滿洲日報

洋行（品）價格表

一 車共上車三十餘輛 五吊四百文至五吊
一 共來七十餘輛 六吊九百至六吊八百

一七九半紙	一全	一圓八十錢
一連紙	一連	一圓
一フールスカップ	全	四圓
一中判洋紙	全	二圓
一半紙野紙	百枚	二十錢
一卷紙	四十枚縮	十四錢

一全三組	一圓五十錢以上一圓七十錢
一椅子	一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥	三十圓以上三十五圓
一卓子	四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛	六圓以上十二圓
一廚房用戶棚	七圓五十錢以上十圓

一縞毛布	一枚モノ	四圓以上六圓五十錢
一長火鉢		八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢		二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢	一對	六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人弁無分毫加增

○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登一月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

告料 一ヶ月以內 銀十五仙乃至十仙 長期連揭減價面議

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲（積立）金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
橫濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室 百八番 事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告

山東丸 五月三日出帆 大沽、芝罘、門司、神戶行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行（電話廿六番）

瀛船出帆廣告

第三多聞丸 四月廿九日出帆門司、橫濱行
摩耶山丸 五月朔日門司、神戶、大坂行
日海丸 五月三日門司行
金龍丸、大龍丸、國見丸 臨時芝罘定期
萬成源丸 龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候

松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
瀛營口出帆廣告

潮洲丸 四月三十日入港乘客謝絕
汕頭丸 五月一日入港 四日出帆門司、神戶行

東營口公園地橫
ブッシュ兄弟商會 代理店
遠來洋行（電話二十三）

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造房宅製造各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子具價實以應各主顧局急之需劉本主人啓

宅合名會社分莊
運輸部

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒洋鑑印弁一切雜貨其名譽己傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣商標布手巾花巾東洋緞子洋服鑑表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
運輸部
道般特得官准開設火車轉運行於東西兩店弁牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五五 西店一四三

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麪糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼設有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祗做油房壹擧及經理買賣雜貨布疋等物弁代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚特此通知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

保裝運各幫火輪船生意彙賣各樣洋什貨攤石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十二號

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東櫃（電話九十五番）
西義順棧內西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司

本行專售日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（撒庫辣）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來爾）清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸君欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸 穎朝丸
專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大姍至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街谷荷
松茂洋行（電話五十一番）

三井 電話第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請爲至本行面議

洋行 電話 第六十六號 第九十一號

自造 煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組（電話八十六番）

賣捌
料木 杆子 一丈 一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、
日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切御賣
日本酒春駒一手販賣
營口元神廟街
捌荷洋行（電話一四七番）

生徒募集
營口瀛華實學院 招入學生

本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口 瀛華實學院

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可く旁特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口瀛華實學院

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲疊

喜久洋行
營口永世街八十號
（電話百五十二番）

周
鐵道遼河裕和盛運輸局
在東營口西北街旗昌洋行對門
（電話八十一號）

啓者本號向在日本長崎開設數十年并分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣

弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ貯船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也

營口綏定門街第五〇 英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮蔵

丸重洋行
貨物運輸

啓者 本行前在營口專售實雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉值籌貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞
電話 營口 拾八番 牛家屯 四拾六番

材木荒物販賣

秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

遼河運輸同濟公司

本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東櫃設 營口南永世街北斗洋行
西 營口西北街塘子胡同內

美味安價西洋料理 牛莊亭
營口永世街五十二號鶴の湯東隣

東京電報

●滿洲の領事館區域　近日外務省令を以て公布さるべき滿洲各領事館の管轄區域は直隷省の一部と盛京省の一部（遼東租借地を除く）は牛莊領事館に盛京省の殘部は安東縣領事館に吉林省黑龍江省は奉天總領事館に屬すへしと

●桑港罹災民の避難　罹災民五千人は天幕内に宿營し桑港より他地方へ避難せり

（以上四月二十八日發電）

倫敦電報

●震災と保險會社　ローヤル保險會社は桑港地震火災の爲に支拂ふへき金額一、三五〇、〇〇〇ポンドと見積れりロンドンランカシャイヤ保險會社は止むを得す其準備金の内より一、〇〇〇、〇〇〇ポンドを引出し尚新に五〇〇、〇〇〇ポントの資本を募集するに決せりリバプールロンドングローブ保險會社は其損失を五〇〇、〇〇〇ポンド以下と計算す

（四月二十六日發電）

●再度の小地震　去る二十五日桑港に小地震あり破壞家屋の壁を崩せり

●桑港再築の公債　カリフヲルニヤ州知事ピルクレー氏は桑港市街再建築の爲めに公債發行の議案を提出の爲に特別州會を召集せり

●佛都同盟罷工の虞　五月一日に大同盟罷工の恐れあるを巴里に於て軍事上の準備を整へつゝあり

●婦人選擧權議案　英國下院に於てホルデー氏か婦人に選擧權を與ふる議案を提出せし時傍聽席にありし婦人は常に反對論者に妨害を加へ其態度默視すへからさるを以て傍聽席より逐出せり

●埃及援兵の總員　ナタルに向ひエヂプトより發する援兵は砲兵騎兵及マルタ島よりの歩兵合せて五〇〇〇なり

●英佛の露國公債　英國に割當てたる露國公債は募集額だけ應募あり佛蘭西の受持分は募集額の數倍となる

●保險會社株の暴落　桑港地震に關し保險會社の損失は其後何等の發表なきも重なる保險會社の株は暴落せり

●鹿島號の消息　日本軍艦鹿島號は出發前に速力の試驗をなすへし五月八日出帆前の饗應の準備盛なり

（以上四月二十七日發電）

奉天電報

（二十八日午後八時特別通信員發）

●開港委員の急行　安東縣開港委員として東邊道臺張錫鑾學務處總辦錢鏶明日當奉天發同地へ急行すべし

●練兵營務處の新設　今回練兵營務處新設せられ直督袁世凱公子袁克定氏來任したり

雜報

●西藏條約決定（承前）（四月廿五日在北京特別通信員）

思ふに斯の如く長日月の間行惱みし該問題か斯の如き短日月に於て忽ち決定を見し者は英清兩國互に我說を固守するの全く益なきを悟り適當の塲合迄互に折合ひをなせし結果に依る者ならんか然り而して其の如何の點迄折合ひ如何なる内容を以て決定せしかは未た吾人の確知し難き處なるも英藏假條約を大概に於て承認し別に附加條約三條を加へ英國は西藏の内政に干渉するを得すとの一條あるは殆と確實疑なきなり吾人の其の英藏假條約を殆と承認せしとの根據よりして其内容を推測するに殆と下の範圍を越へさる者ならんか

一、英國は西藏に於ける清國の主權を認む
二、他國の干渉するなくは英國は西藏の内政に干渉せす
三、清國は印度と西藏との通商を計る爲め西藏を開放し且つ相當の施備をなすへし
四、英國は西藏の礦山鐵道其他の利權に對し優越の權利を有す
五、西藏は清英兩國人以外の他國人を用ゆるを得す
六、西藏と印度との境界を劃定する事
七、清國は軍費の賠償として二百四十万兩を英國に支拂ふへし
八、條約解釋の際疑義ある時は英文に依るへし

要之英國は此の條約に依りて西藏の開放を實行せしめ且つ英國の西藏に對する優先權を確定し便國の英國に先ちて西藏の利權を獲得するを豫防するに足る相當の保證を得たる者なり蓋し曾ては露國か自分者顏に勝手氣儘に振舞ふを袖手して旁觀せさるへからさりし英國は今や反て優先の地位を西藏に佔め主客其處を顛倒して露國は永遠英國か西藏に佔據するを旁觀せさるへからさるに到れり是れ豈露國の堪へ得る所ならんや果せる哉露國は曾て西藏の間に訂結せる密約を根據として清國政府に抗議を提出せりと傳へらる而も機會は既に逸せり外務部は二十四日其の條約全文を上奏して批准を乞ひ不日將に調印を行はんとす逸去せる機會の禿頭は捉へんとし欲するも得へからす露國は終に泣眼りに終らさるへからす噫數年來英露角逐の焦點たりし西藏は終に英國の手に落ちたる也夫れ英清兩國の西藏に關する條約の既に決定を見たる既に前述の如しと雖も該條約の内容未た確實ならさるを以て吾人は未た是を批評するを好まさるなり但し英國に於て若し西藏に對する清國の主權を認めたりとせは吾人は此條約か清國の爲め悲しむへき者たるの理由を見す寧ろ世界の秘密庫として久しく世の風潮文化に遲れたる西藏か此の條約によりて全く開放せられ次第に世界文化と接觸して漸次風氣を開發し頑冥を打破するの寧ろ西藏人の爲め且亦清國の爲め大に賀すへき者なるを信ずる也唯英國の優越權を認めたるは聊か清國の權利を損害するに似たりと雖も若し清國にして西藏の利權を開發せは毫も英國の干預を受くる處なきを以て殆と痛痒相關せさるなり然らは則ち吾人は該條約の清國に對して悲しむへき一つの理由を見出さゝる也況んや英國は露國の如く侵略を國是とする者に非すして常に平和を宗旨とする者なるに於てをや（完）

●總督府の移轉期　關東州總督府の旅順移轉期に就ては最初の豫定に依れば已に昨今は其移轉を終へ居らざる可らざる筈なりしに旅順に於ける家屋等準備の未だ整はざるものあるが爲め遷延今日に及びたるが聞く所に據れば總督府側の豫定にては來月中旬迄には引移るべき手筈の由なりと云ふ因に關東州民政署も將來旅順に移すべきやの噂さありたれどもそは事實にあらずして依然舊の如く大連に置かるべしとなり

●遼輸業者の前途　遼陽輸送業者全體の決議に依り各自調印し愈々其筋に認可申請を出願したるは別項記載の如くなるが果して認可を得るや否やは吾人門外者の了知する所にあらされとも頃日某氏の語る所に依れば折角軍政官始め各員が苦心盡力せられたる結果得たる專賣特許權とも云ふべき遼河の利源も或は近き將來に於て一大恐慌を來たし水泡に歸するが如き事なきやと長嘆息をなせり其如何なる理由によりて斯くも悲觀的の言辭を爲せるやは知る所にあらされとも兎に角一願の價値充分ある如く思惟せらるゝを以て當業者たる者宜しく各自に於て此際大に顧る所あり熱心業務を振作して禍を未發に拒かんこと最も肝要なりとす

●小田切氏の張　正金銀行滿洲總支配人小田切萬壽之助氏は今朝奉天支店視察の爲め出張せり

●遼輸共同事務所認可申請　遼河輸送組合にては既報の如く共同事務所設置につき各組合員の調印中の所全部終了したるを以て昨日組合理事神野良氏認可申請願書を四本副官の許に提出したりと云ふ

●與倉軍政官の引籠　遠來の珍客の爲め晝夜忙殺されたる加減か昨午後より頭痛を起し靜養中なりと

●森病院の齒科施設　森病院長森嬌氏か歸營以來鋭意同院の擴張整備に從事し或は醫員を招聘し或は看護婦を增加し或は醫療器械を購入し或は診察室手術室及病室を修補する等面目一新萬端の設備大に整頓せるか今回又當營口に齒科醫の常住開業者無きを遺憾とし特に齒科專門醫兒島市郞氏を招聘し汎く齒患者の治療に從事する由にて同氏は既に一昨二十七日を以て着營せるにより愈ゝ五月一日より開始すへしといふ因に右兒島氏は岡山市に於て十數年間開業し最も技術に練熟し治療懇到夙に名聲を同地方に博し居たりといふ

●本願寺の日曜說教　當地永世街本願寺出張所にては定例に依り本日午後一時及び八時の兩回に於て日曜說教を開き慧燈大師著作の領解文に就て寺本布教師より說教あるよしなり

●妙心寺派の講話　西營口老爺廟内なる妙心寺布教場に於ては本日午前十一時古川布教使より佛說四十二章經の終講あり終つて「釋迦如來の自受用境界」なる演題に就き講話ある筈なりといふ

●慶樂湯の改良　南永世街なる慶樂湯は今回一力の手を離れ獨立經濟にて營業すると爲れるが昨日より更に皮膚病一切に特効ある香氣ある藥を入れ藥湯と爲すと同時に清潔を旨とし大に改良を加へたりといふ

●松榮座本日の狂言　根岸石づゑ兩面藤三大序より根岸裁判迄其役割は▲四郎太郎、番頭長九郎、百姓伊八（千代花）▲組甚伊三郎、妻お徳（美根八）▲下女おとわ、源氏ぶし（小美枡）▲兩面藤三、（美澤次）▲娘お菊、お光（美根六）▲大工吉、（美根八）▲小間物屋龜右門、今木重左衛門（美花丸）

●商海の一不吉　營口に於て商業に從事せる者の大部分は内地の資力ある商人と委托販賣の契約を締結し其の契約の下に商品を仕入れ以て販賣しつゝあるか或は其の契約者と更に一種の委托販賣の契約を取り結び即ち委托販賣の下の販賣をせる者の二者にして不羈獨立以て多數の商品を仕入れて販賣に從事する商人は寥々僅に指を屈するに過きす即ち一言を以て之を云へは營口の商業は委托販賣也夫れ然り故に若し依托販賣に於て其の委托者か危險を覺る如き出來事にてもあらんか委托者は再ひ商品を仕送らさるへく營口に於ける同胞の商業は非常の打擊を蒙らさるを得す近頃聞く所に依れは宅合名會社か三成組に對する債權を全ふせんか爲に領事館に申請して其の店内一切の財產に對し假差押を執行し會々三成組をして媒介販賣せしむるか爲に寄托せし余村氏の清酒七百餘樽も同類を以て指目せられ封印の侮辱を蒙り債權擔保の一物に算入せられ余村氏は抗議を申込みたるも排斥せられ今に至り販賣の自由を欠き居れりとかにて多くの商人は何れも其成行に注意しつゝありと云ふ蓋し斯の如き事は法律家の目より見れは聊か以て不思議と爲すに足らす而して其の結果も第三者の所有に屬する者たる事明白なるに及へは當然其品物は封印を解除せられ所有主に返還せらるゝ者にして少しも氣悶に足らすと雖も營口の商業か以上の如き狀態に在るを知るに於て法律思想に乏き多數商人か見て不安の念を生するは又た必すしも不思議と云ふ可らす裁判權を有する者は事實を精查し一日も速に問題を解決して人心の不安を解除すへき也即ち之を解決して人心の不安を解除するは抑も亦た營口商海の將來を安んする所以の道ならしとせす露骨に云へは斯の如き法律問題は營口に於ては不吉の骨頂と雖も解決宜しきを得は却つて雨降りて地固まるの効力なしとせさる也

●骨董錄　奉天將軍趙爾巽と云ふ人は、着任の當時は其遣り口支那一流の官憲態度を蟬脫したる趣きありとかにて、我邦人側にては大に其風采を想望すと云ふの有樣なりしが。其後我邦人の施設經營に向つて妨碍を試み、或は抗議を提出する抔、頗る利權回收と利權擁護との範圍外に超脫したる强硬否頑固態度往々尠からす。營口の電燈及ひ水道經、或は安東縣に於ける我居留地設計の爲めに土地の買收、或は奉天の博覽會、或は昌圖の馬車稅徵收、或は新奉鐵道に於て軍用以外普通人民及ひ其貨物の輸送、或は奉天城内の輕便鐵道の如き、孰れも皆趙將軍の抗拒的交涉を受けたるの事實は世人の一般に知る所ならん。然るに聞く所に據れは將軍帷幄内史念祖なる傀儡的人物ありて非常に將軍の信任を蒙り其權勢おさ〳〵他の儕輩を壓倒し對日本行動の如き史の建策に係るもの多しと云ふ。史は先年敎案の爲めに革職せられたる巡撫の古手にして、今は盛京省の大藏大臣とも云ふへき財政總局督辦と云ふ職に居りて、聚斂の爲め民間怨嗟の聲高しとは、屢々耳にする所なり。以上趙將軍よりの抗議に係る問題は如何に解決したるやは未た聞く所あらさるか惟り奉天に開設せんとする滿洲博覽會は、一時官民何れの方面よりの計畫に係るやの疑問すら起りし程の有樣なりしか。此程松岡農相の談話なりとて、大阪朝日の報する所を見れは。六月一日より奉天を開放することに確定せる以上は、何人か商的行為をなしたりとて清國は敢て干渉せさるへく清國も亦日清協約に基き異議を容るゝの餘地なかるへし、されは先般清國よりの抗議は、撤兵前の行動に就て云爲せしものにて、六月一日以後開設する滿州博覽會には、何等の差支なきに至たら、故に一時躊躇疑惑せし出品者は、安心して出品せられたし云々とありたれは。先つ博覽會だけの一問題は解決したる者と見て可なるへけれとも。營口に於ける電燈計畫の如きは昨今如何んの狀態にあるや過般内地へ器械を誂へたりとか注文したりとかの噂は聞きしか近頃打絶へ何等の施設行動あるを聞かす盖し清國の抗議に因りて行き悩みの姿になり居るものにや

投書かご

▲春は來れと花咲かす滿目荒涼の營口も昨今の日和と來たら申分が無い自分は此冬を一と歳越年してつく〴〵營口を見切つて了つたが斯ういふ日和の日もあるかと思へばさう見棄てたもので無いそれに軍票でも懷中にフカフカして居たら營口は實に墳墓の地である（豹變生）

▲昨日永世街の司法部の前をブラ〳〵歩行くと前を二人の女……無論海老茶式の女が後を向けて並んで行く一人は草色の洋傘を翳ざして杏の花枝を持つて行く一人は小さな黄色の花の咲いた植木鉢を持つた許りで傘はさゝぬが束髮の極めて品の好いお孃さん風の處女である營口でも斯ういふ女が居るかと思へは圖らず好奇心に驅られて如何なる代物であるかを突留めずに居られ無いので歩を早めて追越し前に廻つて振り返つて見たらコハ如何に一人は南瓜式の一人は菊花石式のアバタ面であつた（物數寄男）▲營口花信に公樂園の料理が美味いと書いてあつた其晩に一家が山海の珍味を食つて往生した餘り料理も粹を極めて貰つては恐れ入る併しそれがお客で無くて割烹店社會の仕合であつた（フン生）▲姐さん達が健康診斷に行く時の車上の澄まし方が滑稽であるチャン公は晏子の御者よりも意氣揚々として沙畑を蹴立てゝ驅行く其上から二百三高地を振り立てゝ人でも斬つたやうな顏付で居る（拜觀生）

●河豚の中毒（一人は死亡二人は危篤）　桃李花發いて鮮魚市場に上る色が惡るくても味が好いて物數寄者の絕えざる間は面相の惡しき河豚奴のう獨り市塲に得意顏なるも是非無しなど閑氣な文句を並べる冗談話にはあらで此に河豚より起れる一大椿事といふは南永世街に元一力の腕利猫と稱へられたるおりん姐さんが新主共稼ぎの公樂園にて一昨二十七日午後五時頃晩餐に河豚を市塲より買ひ來りて亭主吉村眞造（二十六）料理人中山高淸（二十九）帳塲木尾磨佐男（二十五）三人諸共其珍味に舌打ち鳴らしてたらふく喰ひ終りしが軈がて三四時間も過ぎしと思ふ頃指頭及び舌頭に麻痺を起し來れるも何心無く居たりしに次第に全身に及び遂に心臟及び呼吸器をも侵し來れるを以て苦惱甚しくコハ唯事にあらずと氣付遽に人を森病院に馳せて其來診を求めたるも時已に河豚毒の全身に廻はれる後ちにて復た奈何ともせん術無く料理人淸吉は遂に同夜二時に死亡し主人眞造帳塲磨佐男も非常の重態にて到底生命は六ツかしかるべしとの事なれども醫員等は日夜其手當に全力を注ぎつゝあれば或は九死に一生を期し難しとも限らずといふ不虞（河豚）の禍とは斯ると言ふにもやあらん死んでもなど、野暮を極めて可惜青春の花を河豚一匹にて散らさんとはいとも思慮無し殷鑑遠からず時節柄各自に注意せらるべし

●有觸たる詐僞師　詐僞にも種々區別ありて中には手際能きもあれど之れは至つて有觸たる詐僞師にして社會の表裏を知らざる旅館料理店の藝者仲居を誤魔化し多額の金錢を奪ひ取りたる素人詐僞師なり茲に永世街木炭商新玉號に居住せる吉田某なる惡漢は昨夏當地に來りし以來一定の職業もなくブラ〳〵其日を送り居りたる者なるが古語に云ふ小人閑居して不善をなすの譬に漏れず常に善からぬ事のみをなし種々奸策を考案中フト編み出したるは當地に旅館料理店の多くあるを幸に此等に衣食せる藝者仲居を誤魔化し其肖像を文藝俱樂部又は餘い百美人に掲載すと詐り各處に散在せる旅館料理店に至り昨年十月頃より數百圓を奪ひ取りたる由なるが今彼が民に引かゝりし一二軒の家を掲ぐれば日本館のお高、都、繁次、手遊は各十圓宛、第三樓主より八十圓を前後二回に尙他の家にも同樣の手段にて騙取せられ居る者數多くある由此有觸たる詐僞に罹りたる姐樣達こそ頓馬の至りなり

●賭博犯護送　賭博現行犯を以て領事館にて重禁錮四ヶ月の處分を受けたる伊野熊某は不服を申立て一昨日當領事館附栫山巡查長崎に護送

汽車

▲上行車時刻表

車站名	午前點分	午後點分
新民屯至溝帮子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇

▲下行車時刻表

車站名	午前點分	午後點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上十一、二〇	下五、四一

税關手續
一、船舶輸出入荷物取扱
一、荷物保管

梅毒婦人科
外科胃腸病
專門日本醫院

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
營口ブリッジ
川鐵工

天氣
營口地方天氣豫報
自二十八日午後六時
至二十九日午後六時
南の風晴れ

新作小説 おとし胤（四十九）　徳田秋聲

光は、熱田に寄添ふ心もなく寄添ッたのであッた。全く無意識である。眞箇秋晴の空に聳えた富士の秀麗なる山影に見惚れたのであッた。そして氣も、魂も彼方の天に飛んで了ッたのである。

多くの場合に、機會は偶然である。而も偶然の機會は、大なる結果を醸すのである。光は今、此の偶然の機會に捕へられたのではあるまいか。

飽かず眺めてゐるうちに、何かの機で、光の熱い手は、熱田の冷い手に觸れた。光は、はッと我に返ッて、宛然夢から覺めた心地。何か毒氣にでも觸れたやうに、驚いて飛退ると、頰は火のやうになッて、はためく胸。氣は遠くなッた。

熱田は、苦々しげに笑ッて、

「何うしたんです。甚く慌てたもんですね。」

光は、喉が塞ッて聲が出ぬ。耻しくて頭が上らぬ。

熱田は、被蔽せて、

「何が、其樣なに極が惡いんです。誰も見てはゐはしない。ね。」

と更に輕く手を把らうとすると、光は、恐ろしい魔でも拂ふやうに、一生懸命に、その手を拂ッた。

熱田はまた、强ッて把らうとはせぬ。

「何故、其樣になさるんです、此の間は、叔父さんに手を引いてお貰ひなすッたぢやありませんか。尤も叔父さんは、能く輝子さんの手を引くんですがね。」

光には、此の意味が何んだか解らなかッた。それで默ッて垂頭いてゐた。

熱田は、その顔を覗き込むやうにして、

「ね、然うでせう。叔父さんが輝子さんの手を引いて歩くんですから、私が、貴方の手を引いて歩いたッて、些とも不思議は無いでせう。輝子さんは、貴方の先生ですが、叔父さんとは何んでも無い。それでも能く手を引いて歩くのですよ。」

光は、甚く當惑した樣子で、たゞ逡巡してゐる。

日は、大分富士山の方へ傾いて、朗な光を、斜に兩人に浴せかけてゐる。

熱田は、焦心込むだ樣子で、

「ね、貴方は、叔父さんが何故、輝子さんの手を引いて歩くのか知ッてゐますか。」

と低い聲に力を籠めて謂ッて、光の肩に片手を掛けた。

光の頰は熱くなるばかりである。勿論熱田の手を外すだけの勇氣とても無い。手先は微に顫き出した。

熱田は、光の肩から片手を除ッて、そして擽ッたやうに笑ひながら、

「ま、考へて御覧なさい、叔父さんと輝子さんとは何んでも無いでせう　それでも兩人一所に手を把り合ッて歩くのですから、私と貴方も、然うしやうぢやありませんか。さ、これから、少し兩人で歩きませう。叔父さんと三人よりは兩人の方が面白い。」

光も、内々面白いと思はぬでも無い。數馬の何んだか艱しい話を聞いて歩くよりは、熱田の快活な、輕い調子の話を聞いて歩いてゐた方が氣が窮らぬ。けれども何んだかうしろめたい。それで、ハツキリと返事は出來ない。返事は出來ないが嫌では無い。加之熱田が謂ッてゐることが、妙に胸に觸れて、心が躁ぐ。そして出來ることならば、何時までも此うしてゐたいやうに思はれる。彼女の心は、確に熱田に引付けられてゐたのであッた。少なくとも眞面目で氣の優しい數馬よりも、少し浮ついて親切さうな熱田の方が氣に適ッたのであッた。けれども光の情は熱田の言の裏を悟るだけに發達てゐなかッた。また何んの爲に肩へ手を掛けられたのか解らなかッた。それは解らなかッたが、數馬を放ッたらかして、兩人きりで歩くといふのは何んだかうしろめたい。また熱田に馴々しくされるのが窮屈でならなかッた。

それで辛而のことで、

「だけど、もう叔父さんが在ッしやるかも知れませんから、此處にゐた方が可うございませう。」

「然うですか。」と熱田は、忌々しさうに謂ッて、「それにしても、數馬君は何を爲てゐるのでせう。」

と、ふと眼を翳らす彼方から、今しも往來を外れて、畑を横ぎッて來る一箇の紳士。熱田は、瞳を凝らして屹ッと其の人影を見詰めて、

「や、光さん、阿父樣のやうですよ。」

「阿父樣が…………」と光も、謂はるゝ方を眺めて、「ま、眞ンとに！…………」

と兩人顔を見合はせて悄然ッとする。

花間鶯　黄雨
梅か香に來啼く鶯人とへは
はなのありかをこゝとこたへん

同　孤山
里なれぬ初音もらして鶯は
花間のをくに雲かくれせり

夜春雨　孤山
降る雨のなさけに梅のほころひて
かはりゆかしき春の夜半哉

同　黄雨
香にむせひ花にまよふか春雨は
ひとめしのひて夜半に降るなり

廣告

●森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）
院長　醫學得業士　森矯
副院長　醫學得業士　長船郁太郎
●一本院歯科開設●（五月一日より開始）
歯科醫　兒島市郎
森病院（電話一五五）

高野孟矩法律事務所
大連市監部通二丁目五百廿五番地
但高野孟矩不在の節は辨護士戸口茂里代て事務を扱ふ
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河内町一丁目六十七番地
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡横濱宇都宮神戸廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依頼に可應候

開業
日華貿易兼運輸業
一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候
月　日
元神廟街二四八號（電話局向）
義安公司
廣告

長崎酢屋出張所　長門商會
追日暖氣相增候處各位益御清榮之段奉大賀候陳者弊商會儀御當地開業以來各位の御愛顧を蒙り候段難有奉深謝候然るに此度都合に依り引揚歸國致事に決定致し候間何卒不相變御交誼の程願上候先は以紙上御挨拶如斯御座候也
追而御文通の御方樣は長崎市萬屋町酢屋宛御發信被下度候也
營口永世街第九十六號市街鐵道西

齒ノ衛生治療ハ一日モ等閑ニ附スベカラズ然ルニ當營口ニ良歯科醫ナキハ予輩ノ常ニ遺憾トスル所ナルヲ以テ二三有志者相謀リ在天津ノ該科名醫田添豊三君ノ出張ヲ請ヒ河岸通リ元高田洋行跡ニ於テ本日ヨリ約三週間治療ニ從事セラルヽ事トナレリ君ハ夙ニ天津佛租界ニ於テ開業シ内外人ノ信用ヲ博セラル其治術ノ巧否今復之ヲ贊セズ齒患ニ艱メル諸君及齒ノ衛生ヲ重セラルヽ諸君ハ此ノ好機ヲ逸セズ陸續君ガ治療ヲ受ケラレンコトヲ望ム
四月十二日
營口有志者白

營口消防組合規約

第一條　本組合ハ營口派館料理屋同業組合ヲ以テ消防組ヲ創立シ火災ヲ消防シ危害ヲ救援スルヲ目的トス
第二條　本事務所ハ當時旅館及ヒ料理店組合事務所ニ置ク
第三條　本組員ハ在留日本人中本組ノ趣旨ヲ贊同シ進ンデ加盟シタル者ヲ組員トシ消防員タラシムルコ
第四條　本組ニ左ノ役員ヲ置ク
一正取締　一名　一組頭　一名
一副取締　一名　一小頭　二名
第五條　正副取締ノ年限ハ滿一ケ年ト定メ再撰スルコヲ得ル
第六條　正取締本組ヲ代表シ本組一切ノ事務ヲ總理ス
副取締ハ正取締ノ代表ニ補助ス
組頭ハ正副取締ノ命ニ依リテ現場一切ノ職務ヲ分擔シ小頭ヲ指揮スルモノトス
第七條　本組ニ左ノ職員ヲ置ク
一筒先持　二名　一梯子持　四名
一纏持　二名　一刺叉持　四名
第八條　本組小頭ハ現場ニ於テ消防ヲ指揮シ組員當時欠席員ノ有ル場合ハ正副取締ノ許可ヲ得テ職務ヲ變更スルコアルベシ
第九條　出火警鐘ハ警務課司法部前ニ置ク
一警鐘心得
城内及牛家屯、河北停車場青堆子附近出火ノ際ハ三點打トシ　○－○－○
城外ハ總テ二點打ノコ　○－○　○－○
兇徒暴起其他非常ノ事變ヲ知リタル時
○－○－○－○－○－○－○－○連打トス
第十條　第六條第七條規定ニ基キ警鐘アル時ハ軍政署司法部構内ニ來集シ當局者ノ指揮ヲ待テ各々準備スルモノトス
第十一條　出火現場ニハ軍政署ニ依頼シ無用ノ人ハ猥リニ本組員ノ外ハ出入ヲ堅ク禁スル者トス
第十二條　本組員ニシテ如何ナル事故生ス共現場鎭火迄ハ退場スルコヲ得ズ
但正副取締ノ許可ヲ得タル上ハ此限ニアラズ
第十三條　本組員ニシテ現場ニ於テ猥リニ亂酒シ且ツ故意ヲ以テ爭闘シ各自事務ニ怠惰シ不品行ノ行爲有ル場合ハ軍政署ヘ直ニ引渡スモノトス
第十四條　本組員ニシテ現場ニ於テ負傷及即死者等アル場合ハ直ニ治療ヲ施シ充分ノ補助ヲナスモノトス
第十五條　現場鎭火ト認メタル場合ハ正副取締ヨリ號笛ヲ以テ引揚ノ命トシ同時ニ散亂セズ組頭ノ指揮ニ隨テ整列セシマルモノトス
第十六條　引揚ノ場所ハ警務課司法部構内ニ於テ人員ヲ調査シ正副取締ノ命ニ依リ解散スルモノトス
第十七條　本組員ニシテ旅行且ツ移轉ヲナシタル場合ハ事務所ニ屆出ルコ
第十八條　本組員ニシテ平素不品行ノ行動ヲ爲シ本組ノ體面ヲ汚スガ如キ事アル場合ハ本組ヲ除名スルコアルベシ
第十九條　本組員ハ各自門口ニ消防タルコヲ一定ノ標札ヲ打附ケ置ク事トス
第二十條　本組正副取締適當ト認メタル時機ニ於テ監督官廳ノ許可ヲ得テ消防演習ヲ爲スコアルベシ
第二十一條　本組ニ業務記錄帳簿財產目錄組員姓名簿ヲ備フ
第二十二條　正副取締ハ名譽職トシ無報酬ト定メ事務所書記ハ自給ニシテ正副取締是ヲ定ム
第二十三條　本組員ハ手當等ヲ給與スル場合ハ正副取締ノ認定ヲ要シタル上施行スル者トス
但シ本組ノ爲メ特ニ効勞ヲ奏シ火災ノ際豪膽ナル働ヲナシタルモノニハ特ニ本組合正副取締調査ノ上協議ヲナシ賞與ヲ與フルモノトス
第二十四條　本組職員ノ欠員アル場合ハ本組ニ於テ平素品行方正ニシテ役員タル資格ヲ有スル者ヘ正副取締ヨリ役職員ニ推選スルコアルヘシ
但シ消防夫ノ欠員ヲ生ジタル場合ハ正副取締隨時加盟ヲ諾スルコアルベシ
第二十五條　本組總會ハ半期毎ニ開會ス
但シ正副取締ガ臨時總會ノ必要ト認メタル場合ハ此限ニアラズ
第二十六條　營口ニ非常アル場合ハ取締ヨリ組頭ニ命シ小頭及消防夫ハ應援スルコアルベシ
但右ノ場合正副取締ヨリ指名スルコアルベシ
右各條項ニ違背シタル者ハ本組規約ニ基キ除名スルコトアルベシ

正取締　齋藤富次郎
副取締　西崎金兵衛

追テ來ル五月四日出初式執行仕候

旅館　御料理　扶桑館
奉天大西關大什字街　第五分局千〇六十八号
館主　堀田ハル
電話　号

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

新着
椅子○卓子○窓懸○卓懸○花莚○マット○油多加織○ビロードセン○

和洋雜貨　盛進商行

一料理用白味噌、赤味噌、
一煙草類、東京淺草海苔、木炭、萬醬油、白米、等上鰹節
一罐詰類、
一瓶詰雲丹、酒盗、コノワタ、
一清酒澤龜特約並に瓶詰、
一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、
其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らす御用仰付られ度伏て奉願上候也
東營口永世街第廿八号
雜貨商　大原洋行

質屋營業
精々勉强御更宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口永世街南憲第三十六號
北斗洋行質屋部

旅館　東京樓
營口中央市場前　高事勉强乗車乗船好位置
店主　熊田兼次郎（電話五百七十八番）
御旅館洋料理　東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

大阪商船會社荷客取扱所　内外船舶代理保險貸借仲立　輸出入税關手續
解船人夫運搬請負　諸品委托賣買
水陸輸送貨物仲次所　倉庫業
瀛船出入案内
多聞丸　二十九日出帆　門司、横濱行
潮洲丸　三十日入港
汕頭丸　五月一日入港
御乘船の御方は御一報次第切符持參可仕候尚御手廻荷物當店迄迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候
西北街　德重洋行

御料理　雪月花
板場新來了料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一團ノ會席ト仕餘ヘ御意ニ從ヒナンデモデス
ゲンシン　ビヨガイ
新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや藝妓　仝　松吉　仝　二〇か　義太夫　牛莊
御客樣方

從來すき燒專門を以て各位の御引立をり候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊ひを願ふ主旨に御座候間何卒倍舊御引立の程偏に御願申上候
營口二本町
店主　田村瀧太郎
梅廼家

古料理
滿月　平野町（電一六二）
滿月支店　平野町入口
店主　青木勝惠

元神廟街憲甲第二三〇號

宅合名會社支店

當店義都合有之本月限り閉鎖仕殘務ハ現在店後方左側ノ樓上ニテ取扱候間爰ニ從來ノ恩顧ヲ謝シ此段廣告候也

御愛顧ヲ以テ一昨年來特ニ名聲ヲ博シ候

清酒 **澤龜** 印

ハ從來ノ特約店ニテ一層勉勵販賣仕候也

宅合名會社 營口支店 閉鎖廣告

西分行貿易部ハ此際擴張仕左ノ名義ヲ以テ老爺閣街同盛德院內ニテ引續營業仕候間是又一層ノ御眷顧奉願候也

明治三十九年四月廿五日

宅洋行

胃腸病新薬

消化劑 **糖化素**

医学得業士 矢島氏發見

滿洲特約一手販賣 **東瀛大藥房** 營口大街

本劑專治脾胃失調飲食不化之諸症飯後脾胃疼痛過用米麵積滯腹瀉腳軟心煩婦人懷孕患嘔吐之症熱病稍愈腸胃未至於調和又如停食胃口不開肝胃氣痛肚腹膨脹兩便苦澁之諸症均有卓効

發明者日本醫學得業士 矢島猴太郎 謹白

本行開設年已週一載幸蒙貴客寵愛顧接踵購買致倣行久譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器漆器傢俱東洋綢緞

宅洋行

(元神廟街) (雜貨商) (電話三百十七番)

帽子手巾帕毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實概減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也此啓

銘酒 **白鶴** 諸雜貨

今般**新荷着**仕候に付ては**卸小賣**とも是迄の賣直段より**壹割引** 酒及米、罐詰類は五步引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候 敬具

營口元神廟街 **井門洋行** 電話一八五

遼陽西門外 **仝支店**

大日本政府特定 營口付紙捲煙草 滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口水世街

廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はず和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士 **森川範一**

土木部主任技師 **永原万吉**

營口元神廟街第百七十二號(電話一七三番)

土木建築請負業 **井上公司**

萬代不朽毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なりリサイトは室內裝飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし

米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店

營口元神廟街第百七十二号(電話一七三番)

井上公司

日本有名秘藥物發售廣告

凡顧者以油婦人一用香水髮料以及各貨切藥價值從廉比在日本內地發賣無論零賣躉買均可中土商賈即請格外克己以廣招徠特此告白

營口水世街 三木洋行 回天堂大藥房 (電話百九十番) 啓

大日本帝國有名方劑

化粧品並一切賣藥 卸賣 小賣

右內地と同樣の廉價を以て卸賣小賣共萬事御便利を謀り可申候間多少に不拘御用命被仰付度奉希上候 電話にて御注文被下候へば直に持參可仕候

大阪谷回春堂滿洲總售處

營口水世街(警務課司法部東隣)

三木洋行 回天堂大藥房 (電話百九十番)

發賣 料木 標子 木板

塩川商會

清國營口二本町二五五號

主任 鹽川峯吉 (電話一三六番)

外に

電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本

用材北海道產松大角(自廿五尺至三十尺)一万立方尺餘

右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

遼陽小西門內 鹽川商會 ●建築

關內外盧漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候

一 海關手續 事務取扱 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ

一 鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌ニテ事務取扱

一 船舶貨物取扱

一 其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號

大清通運公司 營口支店

抽籤廣告

豫て御客樣方へ差出置候景品付切符は未だ豫定の半數にも不滿從て御約束の通り抽籤もなり難く今日に及び候へ共何分多數のこと故何日盡くべくも難計候に付一先づ切と致し愈々明日曜正午弊亭に於て抽籤の上夫々景品差上可申候間切符御持參の御方は當日隨意御立合被下度此段廣告仕候

月 日

營口元神廟街二〇九號 **翁亭**

御披露

今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候

月 日

支店 鐵嶺西門外火神廟六十一號 **高砂ホテル**

西海洋服店

歐米各國最新流行形

水世街一四一(森病院三軒目)

(電話百二十七號)

和洋御料理 一力

舌代

弊店儀開業以來各位の御引立に預り日增隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め內地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候

樓主 敬白

會席料理 三日月

營口警務課前南に入る

稟告

弊樓儀營業以來日尚淺きにも拘らず各位の御引立に依り益々繁榮仕候段難有奉鳴謝候就ては今般弊樓向側**木村旅館**を讓受け居室を修繕し料理萬端大に改良を加へ**旅館營業**仕候間弊樓同樣御引立を蒙り度此段偏に奉希上候敬白

月 日

營口水世街五十七號 **三日月樓主**

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室內の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間頂ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候 敬白

營口二本町

祇園閣旅館部 主人 (電話一四四番)

各位

マニラ製、エヂプト製紙卷烟草大販賣所 (第一市場南側)

當店に於て販賣致候葉卷烟草及紙卷煙草は每二ケ月直接「マニラ」及「エヂプト」より輸入の新荷を以て悉皆引換へ全く新鮮の品より外販賣不致候間一層の御愛顧を給はり度候

尙賣殘りの品は新荷と入替の爲め二ヶ月每に競賣に附して賣却可致候

エン、マリホールド

宮門抄

四月初一日

外務部　欽天監　侍衛處値日無引　見　達壽請假五日　吏部呈

進呈官卷

召見軍機

外務部遞封奏二件

上諭恭錄

四月初一日奉

旨理藩院奏多倫諾爾幹珠爾瓦諾們漢報効練兵經費遵議獎敍一摺多倫諾爾幹珠爾瓦諾們漢捐助銀兩實屬至誠著加恩賞給多倫諾爾幹珠爾瓦諾們漢至誠名號以示鼓勵該衙門知道欽此

奏議

盛京將軍趙奏裁併巡捕游擊隊釐定營制餉章摺

奏爲裁併奉省巡捕游擊隊分配成營釐定餉章以固邊防而肅戎政恭摺仰祈　聖鑒事竊査奉省舊有各軍自庚子亂後經前任將軍增祺留强汰弱挑取馬步六千人改爲巡捕游擊隊調赴各路擇要駐紮爲緝捕盜賊之用此外續募添募以及隨時收撫編配成營者尙不下萬餘人營制餉章未能一律迨日俄和議告成戰事停止兩軍降隊遣散游匪蠢動兵力單薄防勦兩難各府廳州縣或稟請添募護勇以資捍衞或就近收撫降匪以安反側其有大股嘯聚不能資遣者並即隨時收編成營或數十人多則千餘人不等人數愈多營制愈亂甚或一營之內器械各別名額不齊龐雜糾紛漫無節制軍政之壞幾至無可措手奉省爲　陪都重地邊疆要區右衞　京畿左鄰强國形勢所在控制宜嚴況當兵燹之餘伏莽未淸客軍將撤防勦巡緝動輒需兵是非統籌全局改絃更張不足以整軍容而重邊備迭經督飭各營隊設法歸併釐定營制餉章由奴才遴員統率以期化散爲整通省一律庶幾兵皆有用餉不虛縻數月以來粗有端緒現擬將所有舊隊裁汰老弱挑練精壯馬隊以二百五十人爲一營步隊以五百人爲一營全省共留四十營統名之曰奉軍按中左右前後副左副右副後分爲八路即以親軍五營並河防馬隊一營共六營隸一統領駐紮省城爲奉軍中路又將綏靖三營並遼復海蓋各巡隊歸成馬隊兩營步隊兩營再由西路撥添步隊一營共九營隸一統領分駐遼南各處爲奉軍前路又將東邊九城各巡隊並新招之新勝營步隊歸成馬隊兩營步隊四營共六營隸一統領分駐東邊一帶扼要地面爲奉軍左路又將海龍總管所部各隊及西豐西安東平柳河各縣巡隊歸成馬隊兩營步隊兩營共四營隸一統領分駐海龍府屬爲奉軍副左路又將新民府彰武鎭安及新立屯姜家屯各巡隊歸成馬隊四營步隊一營共五營隸一統領分駐新民府屬各城鎭爲奉軍右路又將錦州府屬游擊巡捕各隊歸成馬隊五營步隊一營共六營隸一統領分駐錦州府屬各城鎭爲奉軍副右路此路除歸併外尙餘馬隊一營應即改爲步隊撥歸前路又將瑞武一營並鐵嶺開原奉化懷德各巡隊歸成馬隊三營步隊一營共四營隸一統領分駐鐵嶺等處各城縣爲奉軍後路又將北路統巡坐營及遼源康平兩州縣巡捕隊歸成馬隊四營隸一統領分駐洮南府屬爲奉軍副後路綜計八路共馬步隊四十營東南路山林叢密利於擊刺故多留步隊西北路地多沙漠利於馳逐故多留騎兵期於兵機地勢兩得其宜俾無運掉不靈之患此外尙有新添之新安四營成營未久暫緩歸併應俟察看情形再行分別辦理似此分籌布置庶舊隊有所歸束新隊有所遵循目前分路搜勦畫疆防守各有責成此後添練新軍亦無攙雜惟是奉省原定餉章本未畫一又値離亂之後百物翔貴各兵所得餉項爲數無多不敷餬口幾至兵匪不分閭閻騷動現既統籌歸併勤加訓練期成勁旅自應優給薪餉俾收飽騰之效茲由奴才擬定薪餉畫一章程另繕淸單恭呈　御覽此項薪餉統俟歸併成營之日起支其未經歸併以前仍照舊章支放以昭核實現定薪餉數目雖較舊章加優然以奉天物價計之各營尙形竭蹶合無仰懇　天恩俯准照擬開支以恤兵艱而作士氣仍由奴才督飭各路統領參以新法認眞約束操練務使一將盡一將之材一兵得一兵之用以期仰副

朝廷整軍經武力圖自强之至意所有歸併奉省巡捕游擊各隊分配成營並釐定餉章緣由理合開具淸單恭摺具　奏伏乞

皇太后　皇上聖鑒訓示謹　奏奉

硃批該衙門知道

單片併發欽此

奉天電報

●開埠委員前往安東縣　因自西五月一日起已經決定開放安東縣一節刻已派定東邊道臺張錫鑾學務處總辦錢鑅二君均爲安東縣開港委員于明日由省城急行前往該縣云

●袁克定君履新　此次新設練兵營務處著袁克定君爲總辦刻已來瀋履新　克定君即袁宮保之貴公子也（以上西四月二十八日到）

東京電報

●日皇優旨救恤民災　此次在美屬桑宮蘭洗斯科之地震　日皇深憫其慘狀優旨撥給內帑二十萬圓以救恤留民日本外相即電致美國總統以傳優旨云

●銀行召募恤災捐欵　西四月二十六日在日本東京橫濱二處業銀行者四十五名會同外相官邸救助桑港震災之協議會立刻籌辦欵共二十萬圓俾施救濟云

●領事館管轄區域　因此次奉天安東縣等處已經決定開埠日政府擬劃定各領事館管轄區域即以直隸省之一部與盛京省之西一半屬牛莊領事館以盛京省之東南一半屬安東縣領事館以吉林黑龍江省屬奉天總領事館不日當以外務省之命令宣布云（以上西四月二十八日到）

中外要聞

●聲明開放主義　中東兩欽使此次均蒞德國東方協會並聲明兩國政府現採用開放門戶主義

●催交京張路軌　京張鐵路先向法國商人訂購鉄軌五千墩後聞又由胡侍郞芸楣詹工程師天佑又購訂鐵軌二千墩催法商從速交到因京張鐵路原奏定係四年竣工現袁宮保之意擬限期三年即行竣工故也

●條陳新疆增兵　自俄國失志於東三省以來立桑榆計畫專意西鄙孜孜經營不遺餘力者爲世人所共知也然聞新疆地方兵力單弱合全省練勇不足八千之譜而操練不精且軍械匱乏加以土地廣濶聲息不靈故防備甚弱有鞭長莫及之勢如俄國進軍侵略難以抵制俄人之馬足一旦有事倉皇失措欲派內地營隊救濟其急而相隔萬里山河懸阻安能應手俄國日下虎視耽耽垂涎西鄙見機將發乘岌岌乎危哉之頃有某大員見及於此據實詳述新疆地方邊防情形並條陳對付俄國東漸之辦法略云僅欲以八千之兵守此廣濶之地抵制俄國奢望詎不蹈東三省之覆轍請飭練兵處與伊犁將軍新疆巡撫電商從速設法添募練勇籌備軍械以固邊防而全大局聞政府據之刻正籌商此事

●大學堂運動會定期　大學堂現巳准期於四月初一初二初三日舉行第一次春季運動會初一日爲運動會準備之期初二日招待各私立學堂及普通參觀者初三日招待各官立學堂及特別參觀者凡參觀者俱由大學堂分送入場劵參觀之日持劵以往若無入場劵者雖有親友介紹仍不得入場云

●參觀漁業陳列所　張季直殿撰在上海所創之江浙漁業公司於本月中在租界蘇州河路設漁業陳列所其內容甚富所陳之各處水產如魚類蛤螄類無腸類軟壳類各動物及水產植物標本甚多其中酒製者及風乾者一切皆備並懸掛各海岸漁業界諸圖又陳列各處漁船模型供人考察復柬請駐滬商約大臣呂尙書盛宮保及各報記者商學兩界之人前往參觀無不稱善足見中國漁業之日有進步矣

雜報

●森病院添設齒科　在本埠永世街森病院院長森嬌君刻銳意更革院務或招聘醫員或增加看病人或購入醫療器械或修補診病室手術室及養病室等面目一新萬端設備爲之大加整頓頃者又更擬添設齒科於該院內特招聘齒科專門醫兒島市郞君巳於西四月二十七日(即中四月初四)來埠因之自西五月一日(即中四月初八)起開辦從事齒患者之治療云聞兒島君向來於日本岡山市開業已十有餘年技術最練熟治療最懇切遠近爭先踵門受治夙博國手之名今來本埠務望有齒患者早臨療治庶免交臂失之云

●行路之難　有一山東李姓者帶領妻小欲至双城堡尋親因無路費在關帝廟前願將三歲小兒賣出以作路費來往行人群生惻隱之心有助洋一元者有助八角者共湊四元有奇其人叩謝而去

●事殊孟敏　昔孟敏自墮其甑不顧而去人以爲曠達昨午前有廣德慶酒局之夥肩挑空酒坛四枚至同興公門首誤被人力車碰倒一枚其二因勢撞擊均成齏粉二人爭論不决幸有來往行人互相解勸分任其一始各散去云

●弄丸傷指　本埠南元順之外櫃某手拿銃彈二枚作把玩之具業巳多日前日至協玉棧院內廣帮客屋當被廣客見之問其中尙有藥否答曰有廣客用鉄錐連挖數次迄無動作外櫃某仍在手中玩弄舉坐數人皆驚恐辭去某外櫃手中銃彈忽然炸烈傷去左手三指鮮血淋漓該客驚惶遍尋指跡已杳然無存云云

●本埠行情　安出河載元豆七兩七錢五分靑豆七兩三錢八分安出地載靑豆七兩三錢五分共安二千石

NEWCHWANG, SUNDAY, APRIL 29, 1906.

To-morrow (April 30th), T. I. M.'s the Emperor and the Empress will hold in Tokyo the Grand Military Review to be conducted on the most extensive scale. The day has been proclaimed an Army holiday in honour of the occasion.

The Administration will consequently close for the day.

The funeral of the late Capt. H. S. Lawrence took place yesterday afternoon.

The mournful procession started from the residence at 4.30 p.m. The Rev. Messrs. J. Carson and J. Webster led the solemn train in double file. The bier followed with its precious burden borne by a group of boatmen from the Customs and foreign hongs. The coffin was shrouded in the 'Stars anp Stripes' and bore a number of beautiful floral wreaths send by friend s of the deceased.

When the cemetery was reached, a gathering of mourners was found in waiting. At the gate, the pall-bearers comprised of Messrs. Sammons, Clarke, Ross-Thomson, Sargent, Benson, Gleason, Heuckendorff, and Farnham—all American citizens—took over the precious charge into their hands, carrying it to the final resting place. The Consular, the Customs, and the Administration staff, and the nautical, professional, and mercantile communities of the port were represented in the large mourning crowd by their prominent members, of whom a good number were ladies.

The sky was cloudless; the balmy sunlight was mellowing amber as the afternoon advanced; and there was not a stir in the hushed air.

The Rev. Mr. Carson who conducted the burial ceremony read a few appropriate passage from the Scripture and offered a touching prayer, in which he dwelt upon the bravery and fortitude the departed had displayed in bearing his long sufferings.

The impressive service was concluded with Hymn No. 400, Mrs. Van Ess playing on the organ.

Most of the mourners lingered till the earth received the sacred dust in its secure hold.

Mr. Geo. Gleason who with Mrs. Gleason has been staying with the McCaslins for a week past, intends to start for Tieling about Monday with a view to founding a new military club there for the Japanese troops.

The Rev. Mr. Webster left for Haicheng last evening.

Mrs. K. Leitch of Chenchow who is now at the "Stone House" will follow him on a visit on Monday next.

It should not be forgotten that the 4th paper hunt is to be held this morning at 11 a.m. The start will be made from Mr. H. A. Bush's stable to be wound up in the vicinity of the South Gate. The distance is said to be about 7 miles, along which Mr. Stewart will have the papers laid.

The weather and the condition of the roads at present being best suited to an out-door sport of this kind, a large attendance and some record-breaking speeds are expected at to-day's event.

The treacherous April weather true to its tradition seems to be intent upon recruiting a fair muster of the sick. Mr. Okabe, Foreign Secretary of the Administration, has been laid up with a fever since the 24th last. Perfect quiet and rest is prescribed by the Physician who however sees nothing very grave in his case.

Lt.-Col. Yokura is also similarly affected, though much more lightly and has to keep to his room. He has been advised in consequence to put off another week and wait till the 7th prox. (Monday) in opening his new tennis-courts.

However Mrs. Yokura wishes us to affirm that she will receive calls on Monday next, as previously announced, from 3 to 6 in the afternoon.

A regular mail-launch service has been opened since yesterday between the Customs or the Quarantine Station jetty and Yingkow Station.

The steam-launch leaves this side twice a day at 7 in the morning and 4 in the afternoon, departing from the other side on its return trip respectively at 8.30 a.m. and 5.30 p.m.

A Berlin dispatch states that the German Reichstag has conveyed its profound sympathy for the volcanic eruptions in Italy and also for the earthquake disaster in the United States.

時刻

天津至北京　上八、一〇　下一二、〇六
塘沽至北京　上一二、〇〇　下五、二〇
山海關至北京　上八、　下六、四五

保管可申候
市場北三階樓
時計店ノ二階
宮原公司

輕便入院
永世街

其外鑛物諸般

昨日の氣溫
最高溫度六十六度
最低溫度四十五度
昨年との
最高六十三度
最低溫度九十一度四

營口旅館料理店案内 (いろは順)

料理 **入船亭** 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 **日營ホテル** 河岸通り 店主 井上源吉

料理 **東京館** 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 **東茂旅館** 西北街百七十三號 正金銀行西三軒

料理 **千鳥** 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 **沖の島** 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 **吉野亭** 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 **高砂ホテル 高砂亭** 西北街 店主 片山小みつ (電話一四五番)

旅館 **竹村館** 永世街二十二號 店主 麻田久二 (電話五一)

旅館 **大和館** 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 **滿洲樓** 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 **萬梅** 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 **まんなをし** 永世街字二本町二百五十九号 店主 和田常松

和洋御料理 **公樂園** 南永世街

東京生蕎麥 一式 **東庵** 元神廟(電話百五十九)

旅館料理 **金城ホテル 第二金城ホテル** 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理旅館 **醉花園 澁谷旅館** 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 **喜樂亭** 營口元神廟街

旅館 **東雲旅館** 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

きそば **第一更科** 營口元神廟街

ざるそば **第二更科** 永世街鶴の湯角

御料理 **柳亭** 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理 叮嚀專一 **一力** 營口永世街 店主 堀万助

毎日新湯 **並ニ温泉** 營口元神廟街一四三号・住松信大藏

和洋料理 **松月亭**

料理 **都樓** 平野町 店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

旅館 **奉天館** 奉天城内鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館(電話二五)

和洋御料理 **日清倶樂部** 奉天大南門裡大街 (電話一四)

商人御定宿 **瑞豊館** 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉 (電話 號)

會席御料理 高等御旅館 **天神樓** 奉天小西關大街北側 (電話 號)

旅館料理店 **日の出樓** 奉天小西門通(元紅葉館跡) 温泉付大勉強キレーデヲイシヒ 樓主 大瀬七造 (電話十七號)

旅館料理店 **日盛館** 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男 (電話 號)

旅館料理店 **梅松館** 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎 (電話 號)

旅館料理店 **大和館** 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館 **大正館** 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すへき様に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上 **髙砂館本店** 奉天十間房第十五號

旅館御料理 高砂館支店 **奉高館** 奉天城外廿四號 店主 宇木智平

旅館料理店 **日奉館** 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 **東洋館** 奉天大西門外小什字街(電話號) 主任 藤島初野

御料理 **梅ヶ枝** 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 **勉強館** 奉天小西關外北長發園隣

高等御旅館 **茂林館** 奉天小西關上街路北 (電話二十五號)

旅館料理店 **日章館** 奉天小西關大什字街南へ入 牛肉すき燒 雞肉 **日章亭** (電話 號)

旅館料理店 **旭館本店** 奉天小西關 **旭館支店** 奉天十間房 館主 原田新吉 (電話 号) 奉天小西門外大街路北

御旅館 **瀋陽館**

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 **日營ホテル支店** 主任 林徳松

御料理會席 **永館** 主任 朝枝團造

旅館西洋料理 **遼陽館** 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 **公陽館** 主任 宮川秀基

御料理會席 **末廣屋** 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 **凱旋亭** 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 **遼塔ホテル** 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル **遼陽倶樂部** 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 **玉家** 御料理 主任 西野治三郎

御料理會席 **來々亭** 主任 石田清

和洋料理 御旅館 **滿洲ホテル** 遼陽西街西門二十七号 上松榮治郎

一和洋御料理 **遼東館** 遼陽城内東街

本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

奉天小西關新來當街々 御料理本店 **金城館** (電話十九)

奉大小西門街大什字街 御旅館 **金城ホテル** (電話二一〇)

營口永世街 御料理支店 **金城館** (電話八三)

營口永世街 御旅館支店 **金城ホテル**

大連市吉野町 御料理支店 **金城館**

大連市吉野町 御旅館支店 **金城館**

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡てに注意仕り各位の御意に反かざる様一意相勉め申候
猶は奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全く御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとて一寸に一言申添置候

和洋會席 **御料理**

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候

營口永世街二本町 **日本館** (電話百三十)

各位様

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉強仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

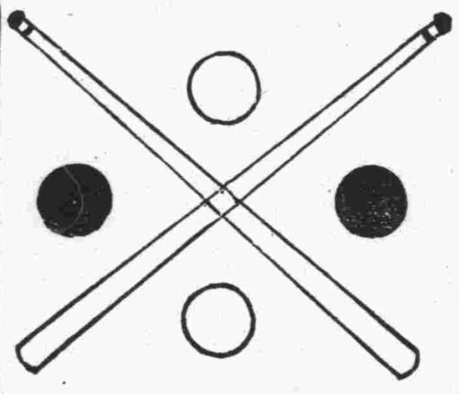
活版印刷 幷に製本 弊所特色

● 印刷鮮明 ● 價格低廉 ● 叮嚀專一 ● 期日正確

營口入口永世街東二本町角 **川本活版所**

大連 東洋ホテル

大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町



五月一日開業

東京新臺到着

今回主人直接東京へ出張無類の好臺を手に入れ參り候間何卒御來遊奉願上候

五月六日玉大競技會

元神廟街 第二軒 (第三樓の向横町)

大日本帝國醫科大學模範藥局御用
攝津灘石崎合資會社釀造

醇良清酒 澤之鶴

大連湖北彩票毎日賣出

東清鐵道裕和盛運輸局

滿洲特約大販賣

周 裕和盛號支店 清國營口西北街 電話八十一番

○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

○支店韓國京城、仁川、木浦、旅順、鐵嶺、
○支店清國、芝罘
○本店日本長崎梅香崎

裕和盛は 澤之鶴は

清商中日本通の張本 一 一鉄美天ある評定に既

金升洋行 盛進商行

爲替相場(四月二十八日) 日本向 百〇一圓 (軍票百圓に付) 上海向 七十一兩二十五錢 (同)

日本品最近物價 加藤洋行
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢 一全 七圓五十錢
一状袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢 一帳面 百枚 十三錢以上十八錢

室内裝飾品及寢具 矢野洋行
一帳面 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一疊 十枚 二圓六十錢以上三圓 一薄縁 八圓 一麻絹通 一疊敷 三圓

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy

本紙定價 一枚ニ付 銀四仙 一ヶ月前金 軍票八十仙 半ヶ年前金 四弗八十仙